

阿賀野市民オンブズマン設立趣意書

我々は阿賀野市民であり、また有権者でもある。

これまで一人の市民・一人の有権者の立場で現市政の動向を注視してきたが、現市政に対する我々の認識は「不公平・不平等・不透明」な市政運営である。

現市政は「曖昧模糊」、「問題の先送り」、「責任転嫁」、「有言不实行」、「我田引水」など、良識を欠いた・市民不在の中で運営されている。その帰結するところは市長の持つ強大な予算配分権を背景にした「利益誘導」と「既得権益者擁護」の市政運営である。

一方、市議会は本来、市長はじめ執行機関に対する監視機能を担うべき機関であるが、むしろ市長の持つ強大な予算配分権に与ろうとオール与党化して、市議会における審議は緊張感を欠いたものになっている。現市議会に対する我々の認識は「形式的・形骸化、おざなり、馴れ合い、緊張感の欠如、けん制機能の欠落」などである。

我々は、このような市政がこのまま続くことを憂慮する。

我々は光の当たらない場所や光の届かない市民に「夢と希望」の光を届け、「公平・平等・透明性のある市政」、「市民の、市民による、市民のための市政」など、真の住民自治を実現するために「阿賀野市民オンブズマン」を結成することを決意した。